

しゅうれんかい（修練会）からのメッセージ

公益財団法人豊島修練会 2018年11月8日（通算第47号）

子どもたちへ（小さなお子さんには読んであげてください）

新小平駅近くのバス停で、バスを待っていると、子どもがたくさん前を通ります。あなたは、次の二人のどちらの子どもがいいと思いますか？ やさしい子どもになってくださいね！

★Aさん・・・友達の悪口を言う。友達をつきとぼしたり、殴ったりする。友達から「やめたほうはいいよ」と注意されると、「うるさい！」と言って、その子に意地悪をしたりいじめたりする。

☆Bさん・・・友達と楽しそうにおしゃべりをしている。口げんかをすることもあるけど、自分が悪いと気づくと「ごめんね」とあやまって、仲直りができる。いじわるやいじめられている子がいたときは、先生に知らせて、その子を助けようとしている。



大人の皆様へ（パパ&ママ、ジジ&ババ）



ノーベル賞を受賞した本庶先生が、「教科書に書いてあることを信じるな」と言ったことが、波紋を広げています。これに迎合して「さすがノーベル賞をもらうだけある」と絶賛する有名人・有識者（？）が続出しています。

でも、いくら偉い人が言ったからと言って「鵜呑みにしてはいけない」と思います。

大学生が使う教科書ならいざ知らず、小学生や中学生の使う教科書には、基礎・基本となる当たり前のことしか書いてないからです。もちろん、社会科では「鎌倉幕府の成立は、源頼朝が征夷大將軍になった1192年ではなく、守護・地頭が配置された1185年にする」とか、理科では「植物の分類は、これまでは・・・だったけど、今は……となっている」ということも確かにあります。でもこれは、間違いというのではなく、研究の成果に伴って変更しようという「ものの見方・考え方の進歩」によるものです。

いずれにしても、教科書に書いてあることを、「どうしてそうなの？」「その理由は？」と、納得できるまでこだわる子供になってほしいという期待ならば、同感です。

学校の先生がたへ

新聞の報道によると、小学校の「総合的な学習の時間 70 コマのうち4分の1の18コマ」までは、「学習の目標、指導方法や評価方法など」について、「学校との連携」がとれていれば、「教員の引率なし」にしかも「土曜日や日曜日、夏休みを利用」して、「NPOや公共施設や企業などに委託できる」ということになるということである。

中学年に外国語活動（35コマ）、高学年に外国語（70コマ）と35コマ増に対する授業時数の確保と、教員の働き方改革に伴い改善策の一つということである。地域の人的資源の活用の意義はわかりますが、担任がいなくて、授業で質と子供の安全は担保されるのか、打ち合わせや調整でかえって手間が増えないなど、どう考えたらよいものか。（BOKE-K）



★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」や「至楽荘」の利用の仕方、「成美教育文化会館」の会場貸出など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。